



茂木敏充

この度、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）を拝命した茂木敏充です。

復帰後三十余年が経過し、沖縄が新たな発展の基礎を築いていく重要な時期に担当大臣に就任し、大変光栄であるとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いがします。

私は大臣として現場主義を貫きたいと考えています。就任直後に沖縄を訪れ、稲嶺知事をはじめ島内各界の多くの方々とお会いし、産業振興の問題、米軍施設・区域の問題など沖縄の抱える諸課題について忌憚のない意見交換を行うとともに、普天間飛行場の概況や沖縄科学技術大学院大学の予定地を自分の目で確かめました。今後とも現地を訪問し、県内各界各層の皆さんのお声もお聴きしたいと考えています。

就任 ご挨拶

沖縄が本土に復帰して以来、政府は三次にわたる振興開発計画を策定し、総額約七兆円の国費を投入して、社会資本の整備を中心に本土との格差是正に努めてきました。その結果、県民各位の御努力と相まって、沖縄は着実に発展を遂げてきました。他方、今日なお沖縄の社会経済は厳しい状況にあり、自立型経済の構築に向けた一層の取組が極めて重要と認識しています。昨年四月に施行された沖縄振興特別措置法及び昨年七月に決定した沖縄振興計画もこのような考え方に基づくもので、これらに沿つて、観光、情報通信、農林水産業等の各種産業の一層の振興、それを支える人材の育成や科学技術の振興など、沖縄の新たな発展に向けて、地元と一緒に積極的に取り組んでいくつもりです。

また、私は、今回の組閣で若い世代の一人として起用されたことから、若く、新しい発想と行動力で、将来に向けた夢のある分野に積極的に取り組んでいくつもりです。

沖縄科学技術大学院大学設立構想については、今後の沖縄振興の目玉となる大変重要なプロジェクトと考えており、構想の

すること)がきました。内外から集まつた三百五十一人の研究者の関心と期待の高さを肌で感じるとともに、世界の一流の研究者がこの構想を支えてくださつてゐることを改めて認識し、心強く思いました。このシンポジウムの成功は、今後の構想の推進に大変意義のあることと感じています。

沖縄における米軍の存在は、我が国のみならずアジア・太平洋地域の平和と安定に大きく貢献している一方で、施設・区域の集中により県民の皆様に大きな御負担をおかけしています。私はこれまで一年間、外務副大臣として基地問題に取り組んできましたが、担当大臣として沖縄の抱える諸課題について、今まで以上に重く受け止めています。普天間飛行場の移設・返還をはじめ県民の皆様の御負担を少しでも軽減できるよう、誠心誠意取り組みます。

私は担当大臣として、県民の皆様の思いを一步一步実現していくことが自らの責務であると考えています。沖縄のために御尽力された歴代の沖縄開発庁長官、沖縄担当大臣等多くの方々の情熱、熱意をしつかりと引き継ぎ、沖縄の新たな発展に向けて精一杯努力していく決意を申し上げ、私のあいさつといたします。

学設立構想については、今後の沖縄振興の目玉となる大変重要なプロジェクトと考えており、構想の具体化に向け全力で取り組みます。先般、名護市において関係各位の多大なる御尽力の下、第一回国際シンポジウムを成功裡に開催

沖縄及び

北方対策担当大臣に

茂木敏充氏が就任



平成十五年九月二十一日付けで沖縄及び北方対策担当大臣に茂木敏充氏が就任された。

平成五年衆議院議員選挙で初当選。平成六年衆議院運輸委員会理事、平成八年衆議院石炭対策特別委員会理事、同年衆議院商工委員会理事、平成九年衆議院内閣委員会理事、同年衆議院外務委員会理事、平成十一年通商産業政務次官、平成十二年衆議院議院運営委員会理事、平成十四年衆議院政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会理事、同年外務副大臣等を歴任後現在に至る。

内閣府副大臣に

中島眞人氏が就任



平成十五年九月二十五日付けで内閣府副大臣（沖縄及び北方対策担当）に中島眞人氏が就任された。

平成七年参議院議員選挙で初当選。平成九年参議院議院運営委員会理事、平成十年大蔵政務次官、平成十一年参議院財政金融委員会（大蔵委員会）筆頭理事、平成十二年参議院国民福祉委員会常任委員長、平成十三年参議院厚生労働委員会常任委員長等を歴任後現在に至る。

山梨県出身 六十八歳

内閣府大臣政務官に

宮腰光寛氏が就任



平成十五年九月二十五日付けで内閣府大臣政務官（沖縄及び北方対策担当）に宮腰光寛氏が就任された。

平成十年衆議院議員選挙で初当選。平成十二年衆議院労働委員会理事、平成十三年衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会理事、平成十四年農林水産大臣政務官等を歴任後現在に至る。

富山県出身 五十二歳

栃木県出身 四十八歳